



広報

下之郷

No. 103

発行日 2015. 5. 8
 編集 発行 郷づくり広報部会
 発行責任者 下之郷区長

＝自然を愛し 人を愛する
 豊かな心を 育てよう＝



農業排水路泥上げ作業(2/22)

目次:

区長・農業組合長あいさつ	1
郷づくり委員長・分館長あいさつ	2
桂城神社春祭り	3
下之郷の未来をどう創るか	4
人権よもやま話⑱	5
入学おめでとう／卒業おめでとう	6
短歌／今月の漢字クイズ／懐かしの風景㉕	7

私たちの下之郷

2015. 4月1日現在

*戸数	237戸
*人口	男 360人
	女 377人
	計 737人

新たな一歩を生み出すために

『少子高齢化』は明るく大きく逞しく前向きに

区長

西堀 傳藏

本年1月の区4役の改選において、不肖私が平成27年度の区長を拝命致すこととなりました。元来その器ではありません。従



いまして歴代の先輩方のようには行きませんが、今日まで私どもを育てていただきました。ご恩に少しでもお返し

ができるように、誠心誠意努めさせていただきます所存です。皆様のご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

このままの状況で少子化が進むと、先祖伝来の素晴らしい田畑や清流、区民皆様のハートの原点である色々な民俗行事、歴史文化の継承は勿論の事、区民の皆さんの生活形態自体もが危惧されます。甲良町では、少子高齢化問題について昨年度からプロジェクトチームを発足させ、また今年度からは2ヵ年

理しておりましたところ、昨年1年間での転入や誕生は少なく、逆に若者の転出が多いことにビックリしました。昨年、日本創成会議が2040年には自治体運営が困難になる予測

計画で地域福祉計画を策定されることです。下之郷区においても、皆さんの考えをお聞きしながら、様々な課題を整理し、その解決に向けて区民みんなで知恵を出し合い、どこにもあるような金太郎飴の将来計画ではなく下之郷に合った未来像を描いて進めて行く必要があると考えています。

そこで、今年度から郷づくり委員会内に特別部会を立ち上げ、区と連携しながら検討が進められます。

少子高齢化云々と言いますと、概して暗く捉えがちですが、これを契機に区民の皆様お一人おひとりが問題意識を共有していただくことで今以上に絆が深まり、よりいっそう安全に、安心して暮らせる下之郷にしていければと考えておりますので、どうか、区民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

就任にあたり

農業組合長

古川 悟

新緑の美しい季節となつてまいりました。区民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。



平素は下之郷農業組合の運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

このたび、平成二十七年年度の農業組合長という重責をお預かりすることになったわけですが、何分、初めてのこともであり、まだまだ未熟者ですので諸先輩方のご指導を賜り、又、区民の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りながら、微力ではありますが精いっぱい努めさせていただきますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

当りの価格が前年度と比較して、五千円程の大幅な値下がりとなりました。又、今までの補助金が二十六年より半額になるなど、農家の経営が大変難しくなつてきています。そんな中、当集落では高齢化が進み、後継者不足により年々耕作者が減つてきています。平成二十七年四月現在組合員百四十六人に対し、耕作者が四十二人となつています。又、昨年は、国の農業政策自改革実施され、水田などの農地を大規模農家に集約、大農地プランとしてコスト削減を図るために、県の農地中間管理機構が昨年発足しましたので、今後、年々急速に耕作者が減っていくものと考えられます。当集落では、農事組合法人きりり下之

郷に農地が集積されていきますが、現時点で集積率が四十二%あり、数年後には七十%に達するものと考えられます。近年、従事者の高齢化が進む中で、五年後、十年後も持続可能な力強い農業を実現するためには、早く、若い後継者を育成していかねればなりません。若い後継者を育成するには、特に、後継者の収入等、非常に難しい問題が色々ありますが、これまで先輩方が守ってきた農地を守るためにも、又、下之郷の豊かな生活環境である農地を守るためにも、少しでも前進できるようにしていかなければならないと思っておりますので、諸先輩方、又、区民の皆様方の力を添え、程、よろしく申し上げます。



「この状況でできることは何か」

郷づくり委員長
上野 芳樹



昨年度に引き続き、郷づくり委員長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、区長さんの挨拶にもあるように、昨年5月に到来、全国896の自治体が消滅する。というショッキングなニュースが全国に流れました。以来、少子高齢化問題が一気に表面化し、甲良町は危ない。その甲良町の中でも特に少子高齢化が進んでいる下之郷の現状は？」と各新聞社が取材に来るような状況になっ

ています。

確かに、昨年度は区の方では、夜回りの廃止、自警団の改編、婦人会の解散など大きな変化がありました。

「これから下之郷はどうなっていくの？」と何か手を打たないと手遅れになるのではないか。」という危機感を、今、多くの区民の方々が抱えています。

こうした状況への対応は、区行政組織で当てるのが本筋ではあります。郷づくり委員会ですが、郷づくり委員会の立場で何かできることがないか。」という思いから、「特別部会」を新たに設置し、少子高齢化に関する当区の諸問題について検討を始めることとしました。まだ、何の見通しも無

く、手探りで進めるしかないのですが、ただ一つ心強く思っていることは、下之郷区民の底力です。家庭の状況の変化、価値観の多様化などはあっても、いざとなれば一致団結してやりきってしまいう「ムラ」ティとしての強さは変わらずにあります。2月の区民一斉泥上げ作業はそのことを実証してくれました。

限界集落になったからといって消えた村はまだ一つも無い。」という学術もいます。先祖から脈々とつながる共同体感覚に確信を持ちつつ、「この状況でできることは何かを具体的に見つけていきたい」と思っています。改めて、区民の皆様のご支援と協力をよろしくお願いします。

「挨拶」

分館長
辻 忠弘

新緑の候、区民の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

平素は分館事業に多大なご関心とご支援ご協力を賜り誠に有難うございます。

このたび、分館長の重職を賜ることになりました。もとより非才の身ではございますが、精一杯務める所存でございます。

さて、分館では、区民の生活文化の振興、健康の増進、福祉社会の増進等に寄与することを目的として、スポーツ活動、各種団体やクラブ活動の育成、青少年の健全育成等に関する

活動を行っており、本年度も昨年同様の活動を計画しているところであります。



なお、一方では、自警団再編、夜廻り廃止が現実となったように、少子高齢化問題や都市傾向化による価値観の変化といった社会現象も着実に進行して

おります。

時代や区民の皆様の一歩に対応した分館活動」というテーマを、一年間の活動を通して、皆様のご意見やお知恵をいただきながら思料して行きたいと思っております。

最後になりましたが、どうかご指導ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

伊勢神楽

今年も伊勢神楽の渋谷社中が2月5日にやってきました。午前中は各家の清祓に回り、午後は番場で総回しをしていただきました。



桂城神社春祭り

4月19日(日)は、桂城神社春の例大祭でした。宵宮の日はこの春一番の陽気だったのに、一転して朝から雨。渡御が心配されたのですが、幸い、午後には雨も上がり、例年とおりのにぎやかなお祭りとなりました。沿道には、里帰りの若い人たちの姿もたくさん見られました。区外に出ても村を忘れない、そんなつながりを大事にしたいものです。



下之郷の未来をどう創るか

担い手減 夜回り廃止



夜9時過ぎ、甲良町下之郷に抱木と鐘の音が響く。数人ずつの組が毎日半分ほど歩く「夜回り」だ。明治時代、村を焼き尽くす大火があり、長年受け継がれてきた。だが、3月いっぱい終了する。

下之郷区の人口はこの20年で約3000人減り、7000人余りに。高齢化率33・7%で、180戸あった農家は1950年代以降、勤め人が増え40戸を切った。昨年末、「夜回り廃止」の賛否を区の18組に尋ねた。足腰が弱った高齢者や女性だけが歩くことが増え、危険性も指摘されていたから。廃止に反対の組からは「歩きながら

町、定住促進策を検討



甲良・下之郷地区

らの会話には目に見えない効果があるという意見もあった。約25年前には圃場整だが、13組が賛成し、1月の備で余った土地を住民が公開集まりで廃止が決まった。にし、集落を流れる水で溝を

抽子木桶を鳴らして歩く「夜回り」。3月末取りやめることが決まった。2014年11月、甲良町下之郷

3月1日の朝日新聞滋賀版に、下之郷区で長年取り組んできた夜回りが廃止になるという記事が掲載されました。明治の大火以降連続と続いてきた夜回り活動が、生活様式の変化や区民の高齢化に伴い、見

直さざるを得なくなり、そして、昨年度、区民あげての協議の結果、夜回りの廃止、自警団の改編が決定されたのです。しかし、新たな課題は今後も次々と起こってくるでしょう。区内の生活環境の変化につまぐ対

応しつつ、持続可能な村として有り続けるためにどうしていけばいいのか。区民の英知を結集して追究していく「変革の時代」に私たちは立ちつきます。

「みんなで」

この村がこれからも持続可能な村であるための重要なキーワードは「みんなで」ではないでしょうか。



これは、2月の区民総出で行った農業排水路の泥上げ作業の様

子です。

農業に従事する家が40戸を切り、圃場の維持が非常に難しくなる中、農家、非農家を問わず、区民総参加で圃場を守るという初の試みでした。力仕事であるにも関わらず、予定時間以内に完了できました。集団の力を改めて実感しました。

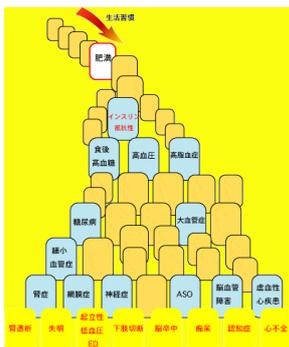
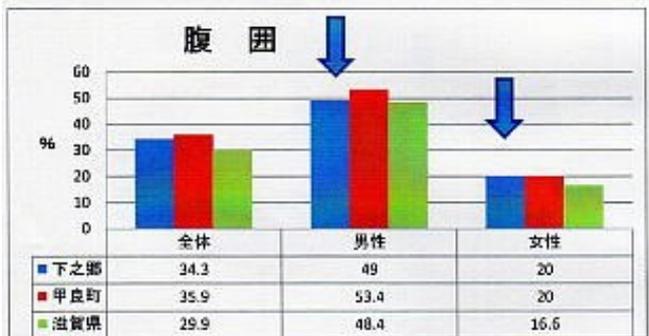
「健康」であること

もつこのキーワードは、区民のみなさん一人ひとりが「健康」であることです。寝たきり状態で長生きしたいという人など誰もいないでしょう。ところが下之郷区民の健康状態は要注意段階にあります。

2月の健康講座で下之郷区の男性の一人に一人は腰囲が85cm以上の「ヌタバ」だと、町の保健師さんが言われました。

そして、3月の町民健康講座で講師の出浦先生は、ヌタバはガンより怖いと話されました。

「ガン倒しと同じで、肥満が、ガン・心血管疾患・脳血管疾患・肺炎・認知症」の五大疾患すべてのおおもとの原因な



のだ。「と」をきちんと理論つけて話されました。生涯元気で過ごすために、自分の健康管理のチェックも重要ですよ。

「高齢者が主役の時代」

今年、心まわりの会の会員数が一〇〇名を超えたそうです。それだけ高齢化が進んでいるということですが、これも見方を変えれば、長い年月で培ってきた豊かな智慧と熟達した技をお持ちの方々がこんなにたくさんいてくださるということになります。



老人クラブ除草作業

一つした区内の人的物的資源を最大限に生かして、みんな力で合わせ変化の時代に対応していかなくてはなりません。



心まわりの会お花見会



人権よもやま話⑨

『塞翁が馬』

皆様には、一年間大変お世話になりました。至らない点が多々あったかと思えますが、区民の皆さんならびに区長さんをはじめ区役員の皆様にお支えをいただいております。さても今度もまた私事でお耳汚しを...

私は、昨年三月で定年を迎え、少しゆとりさせていたでいたのですが、このたび縁あって近くでパートで働かせていただくことになりました。今日からは、ここでの出来事を少しお話ししたいと思います。

職場では、私はもちろん一年生、若い人たちに仕事を習っています。皆さん優しくしてくださるのですが、中

でも私よりひと回りほども年下の職場の長が、特に懇切丁寧に接してくださる。それです。

そこで私が一言、所長、皆さんの手前もあるで、厳しく接していただいて構いませんよ。と言ったと、所長いわく「いやいや、藤居さん。いつか、藤居さんが私の上司として着任される事が無いとはいえませんが、このこと...まさか?」とは思いつつ、この話を聞いていて思い出したことが...

そして、もう一つは、大問万事塞翁が馬』という中国の故事でした。この話は、ご存知の方も多いと思いますが、ある日、おじさんが大切にしていた馬が逃げたので、村人が慰めに行くと、おじさんは「案外不幸と制限らないよ」と村人を一蹴すると、逃げていた馬が駿馬を連れて帰ってきたので、今度は村人がお祝いを言いに行くと、おじさんは「それが好事とも限らない」とまたまた村人を一蹴。すると今度は、その駿馬に乗ったおじさんの息子が落馬して骨折をしてしま...

(町人権啓発指導員 藤居桂三記)

入学おめでとう

3月8日(日)、桂城神社で勸学祭が行われました。今年の新生徒は2人。少子高齢化をひしひしと感じます。でも、だからこそ、子どもは地域の宝として、みなで子育てを応援していきたいです。



あやか
阪東 彩夏
(昌弘)

小学校に行ったら、
勉強をがんばります！



かえで
阪東 楓
(隆弘)



卒業おめでとう



3月21日(土)、甲良西小を卒業した5人の子どもたちと、恒例の卒業記念植樹を行いました。
これまでちびっ子広場に植樹してきましたが、植えるスペースが無くなったため、今年度はスポーツ公園の入り口に植えてもらうことになりました。
植樹した桜の苗木が立派に育って、春のスポート公園の入り口を華やかに彩ってくれる日が来ることを楽しみに待ちたいと思います。



- | | | | | | |
|---------------|--------------|---------------|---------------|--------------|------|
| 阪東 侑奈
(大祐) | 川並 大翔
(進) | 川並 大耀
(雅彦) | 上野 透吾
(忠信) | 上野 杏月
(仁) | 卒業児童 |
|---------------|--------------|---------------|---------------|--------------|------|

短歌欄

「き夫も喜ばむかな八十八のめでたき表彰われは受けたり
 きさらぎや身の丈ちぢむ昨日今日孫はいつくばりて我に近づい
 寒に入れば味噌炊きするは家傳なり湯気もうもつと豆のほひす
 おひなさまの前にすわりて曾孫女はすまし顔して写真におさまる
 祖からの続きたる道歩みきて卒寿をことしわれは越えなむ
 春近き甲良の里につづいすの初音さやかにさえわたる朝
 冬枯れの庭の片すみろつ梅の春にさきがけ蕾ふくらむ
 なつかしき友に会いたる帰り道風花舞えど足どり軽し

藤居 和子
 上野 りえ
 上野 フサ
 川並 千町

正解者

- 川並 千町 さん
- 西堀 利江 さん
- 阪東志奈子 さん
- 辻 好子 さん
- 安澤まゆみ さん
- 辻 重博 さん
- 古川 きさ さん
- 松宮喜代子 さん
- 安澤美佐子 さん
- 田中智賀子 さん

今月の漢字クイズ

★ヒント 一字目はサ行の漢字です。
 前回の答えは
 ①一網打尽 ②奇想天外
 ③心機一転 ④他力本願 でした。

- ① 六 一 三 一 一 一
- ② 四 口 八 口
- ③ 身 井 子 吉 志
- ④ 目 心 木 又

前問と同じ形式の漢字クイズです。
 漢字の一部が消えています。その四字熟語は何でしょう？
 全問正解の方に粗品を進呈いたします。ふるって応募ください。
 (締め切り 5月末日)

梅まつり出店

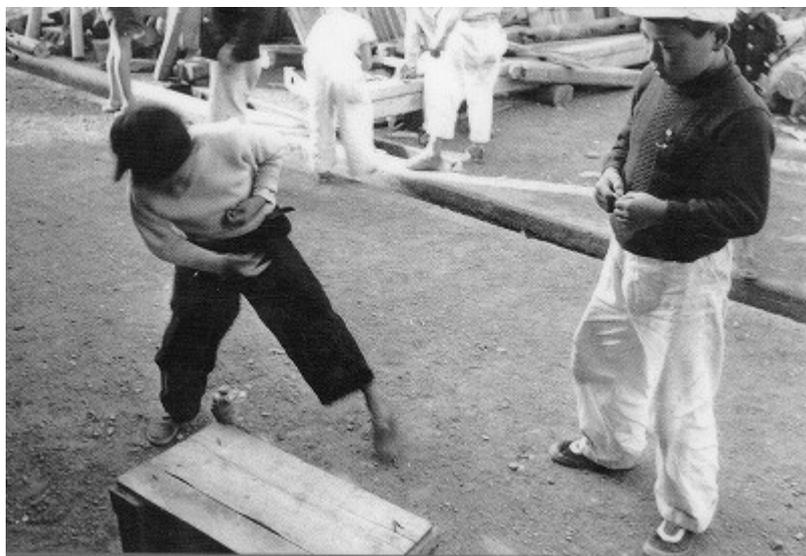


3月22日(日)、呉竹の梅まつりに郷づくり総務委員のメンバーで出店し、みたらし団子とぎらり「の豆菓子」を販売しました。朝から陽春を思わせる暖かな日より、白梅の花吹雪も舞い、まさに「おまつり」にふさわしい一日でした。



編集後記

「この春は、晴れの日と雨の日が交互に来るといつ感じ、桜も早々と散り、ゆったりと春を満喫できないまま4月が過ぎ去りました。春祭りが例年より遅かったため、広報発行も遅れてしまいました。ただ、昨夏から開設したホームページでは、ほぼリアルタイムに区の情報を掲載していますので、ぜひそちらもご覧下さい。



「メンコをする子どもたち」 (写真集「彦根・犬上・愛知の昭和」より)

私たちが子どものころ、お寺の境内なんかに行くと、よくやっていました。「ほんまこ」「うそこ」なんていうのがあって、「ほんまこ」は真剣勝負。負けて、持っていたメンコを全部取られてしまい、べそをかいて帰ったことも、今ではなつかしい思い出です。

懐かしの風景

②⑤